

部局名	都市整備部	所属名	土木建設課	所属長名	矢野 克行	電 話	483-1151 内線3620
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3292		事務事業名称	道路橋梁総務事業						短縮コード	経常	3292	臨時	3669
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋梁費	目	01	道路橋梁総務費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	道路法第16条, 42条, 24条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和27年6月, 道路法施行日から														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして					
宅地開発等が増加しているので、件数が増加する							大項目（節）	02	道路					
							中 項 目	02	市道					
							小項目（施策）	02	一般市道の整備					
							細 項 目	02	市道の整備					
								03	橋梁の整備					
						実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市が管理する道路							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 道路工事施行承認申請書の許認可事務							
	※平成19年度に計画していること： 道路工事施行承認申請書の許認可事務							
意図 （何を狙っているのか）	適切な道路構造を指導する							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	安全な通行を確保する							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	申請件数	件	119	120	123	125	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	許可件数	件	119	120	123	125	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	処理実績	%	100	100	100	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1	都市計画道路の整備済延長	m			34,567		
	指標2	市道の改良整備率	%			68.7		
	指標3							

コード		3292	事務事業名称	道路橋梁総務事業			所属名	土木建設課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	4,622	4,718	4,678	5,057	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			千葉県土木積算システムユーザー使用料 609千円 設計積算システム等賃貸借(1)～(4) 2,349千円	千葉県土木積算システムユーザー使用料 774千円 設計積算システム等賃貸借(1)～(4) 2,234千円	千葉県土木積算システムユーザー使用料 774千円 設計積算システム等賃貸借(1)～(4) 2,232千円	使用料及び賃貸料 3,486千円	
人件費(B)			千円	1,116.7	1,576.5	1,162.8	1,367.5	
トータルコスト(A)+(B)			千円	5,738.7	6,294.5	5,840.8	6,424.5	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		「道路橋梁総務事業」は上位の施策「一般市道の整備」にむけ推進しており，結びついている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☐ 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		宅地開発等が増加していくため許認可業務を続けていかなければならない。					
			☒ 達成していない							
			☐ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		道路法２４条で道路管理者が行うよう規定されているため。					
			☒ 可能性はない							
			☐ 評価対象外事項							
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		目的の変更はなく，現状の対象と意図で結果に結びつくことが出来る。						
		☐ 見直す必要がある								
		☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		適正な許認可が行えるよう，現在有効性・効率性の点からも適正に事務を遂行している。					
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☐ 両方可能性はある							
			☒ 可能性がない							
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。			☐ 民間委託等						
				☐ 臨時的任用職員等の活用						
				☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
				☐ 受益者負担の見直し						
				☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
				☐ 上記以外の方法				2		実施主体 (所管部署)
				⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
	☐ ない									

コード	3292	事務事業名称	道路橋梁総務事業			所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			許認可事務のため、現状を維持していくしかない。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			この事業を継続するに当たり経費・成果ともに不変である。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
なし	

所属長コメント	宅地開発等が近年増加の一途をたどっており、今後道路工事施行承認申請が増加していくと思われるので、継続する必要がある。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	